

## クンナムのピンチヒッター！

### フレッシュマン・オカザキのインド通信

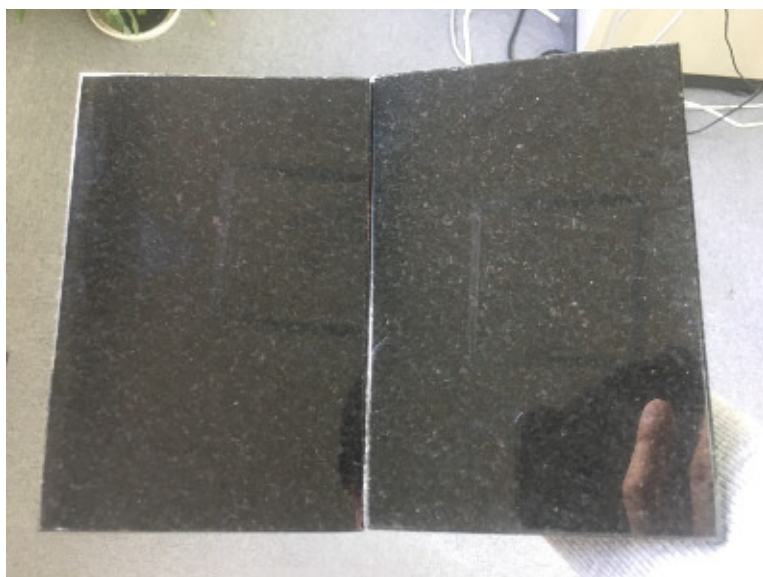
お世話になっております。前月号でクンナム丁場の停産に関するニュースについてお伝えしました。私のメイン商材でありますのでほぼ毎日状況を確認していましたが、1カ月経った今も状況に変化はありません。。。

早いところで「4月末には石が出る！」と言っているところもありますが、定かではありません…一刻も早くご提供出来るよう引き続き情報収集に努めますので、ご寛恕の程宜しくお願い致します。

そして、つい先日クンナムの代替石種を見つける事が出来ました！

あくまで代替石種・類似石種ですので本クンナムとは違いますが、目合いは非常に近いものがあるのではないかと思います！

比較写真がこちらです！↓左が本クンナム、右が代替え石種です。



地色にクンナム独自の茶色っぽさは有りませんが、**目合いと色はとても近いのではないかと思います。**



**↑ブロックは小さい玉石ばかりですが、色は合っています！**

しかし、政府の正式認可が下りる前の試掘段階の石ですので、工場に入荷している量も 2~3cbm と、まだ少量です。とはいえ、入った石は目合いも揃っていて綺麗ですので、十分代替え品として使用できるのではないかと思います。**在庫少ないので早いもの勝ちです！** サンプルご用命の際は、弊社担当営業員までご連絡下さい！

## Paytm とは…

Paytm(ペイティーエム)という言葉を目にした事のない方も多いかと思いますが、これは、今インドを震撼させている**電子決済システム**です！

中国でも支付宝や微信などの電子決済システムが大流行し、キャッシュレス化がどんどん進んでいます。そんな中、この Paytm が誕生しました！

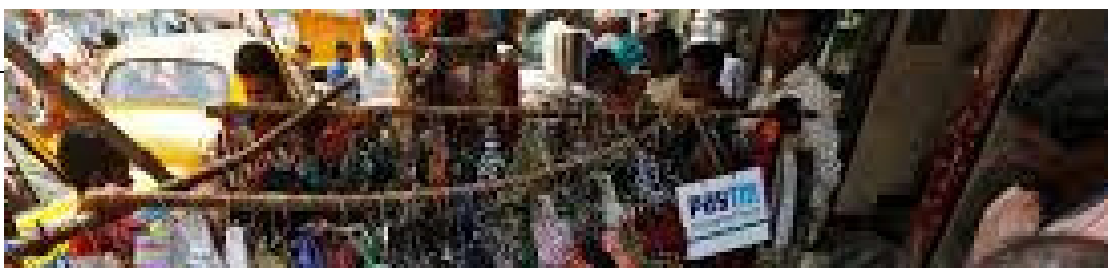
Paytm は 2010 年に創立したばかりにも拘らず、ユーザー数は 2 億 2000

万人を超え、今後も更に拡大を続けることでしょう。また、資金調達源の中でも Paytm は 2015 年に上述の「支付宝」を運営する、中国の電子商取引企業アリババから 15 億ドルの評価額で 6 億 2500 万ドルの調達を成功させました。更に、**インド投資に積極的なソフトバンクは、なんと倍以上ともなる 15 億ドルの投資**をしており、同社にとって過去最大のインド投資となっています。

# paytm

何故ここまで注目されているのかという点を考えると、やはり今後のインド市場規模の拡大に絶大な期待が集まっているからと言えます。またそれだけでなく、決定的にユーザー数を増やしたある事件がありました。

それは、**高額紙幣廃止問題**です。ナレンドラ・モディ首相は 2016 年 11 月 8 日夜の緊急テレビ演説で、最高額紙幣である 1000 ルピー（約 1724 円）紙幣と 500 ルピー（約 862 円）紙幣を何の前触れもなく突然廃止したため、国内経済が大混乱に陥りました。脱税を目的とする不正蓄財の洗い出しや偽札排除が目的とされていた為、事前に告知しては意味がなかったからです。そして結果的に現金の価値が薄くなり、Paytm が爆発的に流行したという事です。中国も偽札が多い事から政府が電子決済を推奨した背景があるので、同じような境遇にあったと言えるでしょう。



↑町の小さな商店でも使う事が出来ます。

さて、Paytm は今後も大注目のインド市場を支えるツールになるのでしょうか。そして将来的には日本への進出も…？有り得ない話ではありませんね。

それでは今月はこの辺で失礼します。

最後まで読んで頂き、有難うございました！

2018/04/01 オカザキ